

三菱非常用照明器具 [電源別置形] (高調波ガイドライン適合品)

Easyeco^{SMART} マルチファイン 直付形

形名 YXR4072A PH, PT (公共施設: K0-I40+FSL1-322 使用ランプHF32)

保管用

取扱説明書

電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みの上、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告、△注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。
○ 絶対に行わない
● 必ず指示に従いでください。
● 行ってください。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
禁止	引火する危険のある雰囲気では使わない。(ガンリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない)
禁止	器具取付けの際は電線を挟まない。(絶縁不良により感電・火災の原因)
禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。
禁止	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
禁止	器具を密集して取付けない。(10cm以上離す) (器具の温度が高くなり火災の原因)
禁止	表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障ととなります。(火災・感電の原因)
禁止	器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
禁止	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。 (器具が過熱して火災の原因)
禁止	調光専用器具以外は調光させない。 (器具が過熱して火災の原因)
禁止	高温 (35℃以上)、粉じん、強い振動・衝撃のある場所では使わない。(火災の原因)
禁止	油煙のある場所では使用しない。 (油でソケットが破損しランプ落下の原因)
禁止	さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所では使わない。 (劣化による落下の原因)
禁止	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。 (絶縁不良により感電・落下の原因)
禁止	風呂場など水や湿気の多い場所では使わない。 (火災・感電の原因)
禁止	雨水のかかる場所では使わない。 (水気・湿気が入り感電の原因)

お願い

■周囲温度は5-35℃の範囲でご使用ください。点灯始動保証温度は-5℃以上です。周囲温度5℃未満での連続使用は、ランプ光束の低下やランプの短寿命となります。
■非常用専用ランプは平常時連続点灯しないでください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なお客さまにお渡しください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告、△注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。
○ 絶対に行わない
● 必ず指示に従ってください。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)
禁止	器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。 (火災・感電の原因)
禁止	ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損してけがの原因)
禁止	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。 (過熱して火災の原因)

点検
■6ヶ月〜1年に1回、機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。【建築基準法施行規則第6条】

ランプ交換、器具の清掃

ランプ交換

適合ランプ FHF32 FL40SS (EX) J37
適合非常用電球 ミニ電球 (100V40W)

注意

- 矢印の方向に取付パネを押して、ランプを取り出す。
- ランプを90°回転させ、ソケットからはずす。
- 90°回転した右側の取付パネを押し上げ本体の取付パネにルーバーの角穴をセットする。
- ルーバーを押し上げ本体の取付パネにルーバーの角穴をセットする。

①差し込む
②90°回転

清掃

○カバーなどプラスチック部分には次のものを使用しないでください。
・酸性洗剤
・研磨剤
・シンナーなど揮発性のもの
・熱湯
・みかき粉や金属部分の汚れは、やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。

○反射板の汚れは、やわらかい布でふきとってください。

ランプ交換、器具の清掃

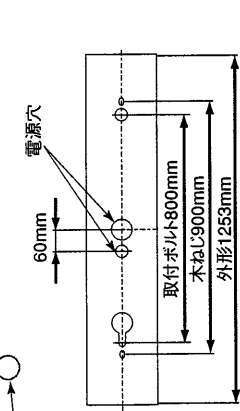
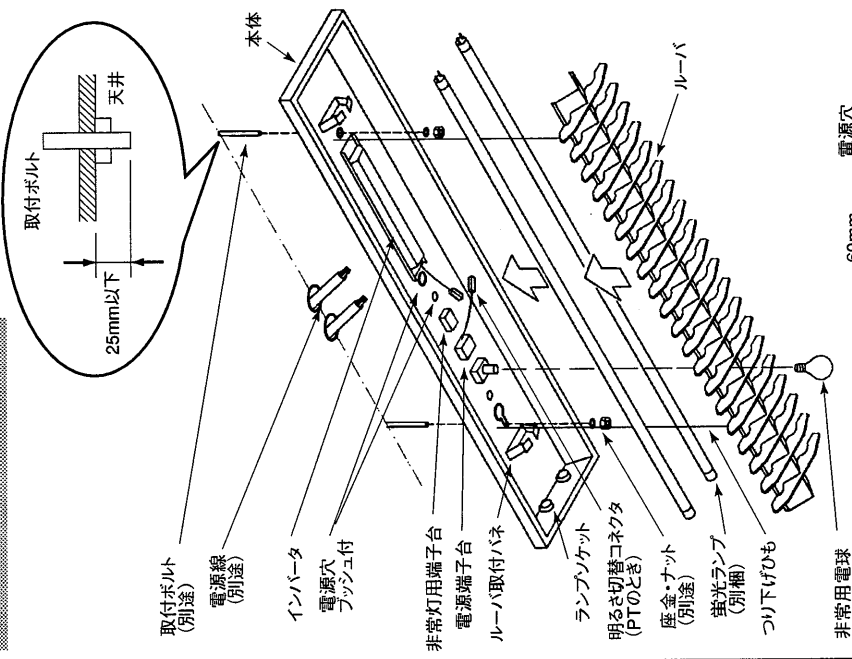
■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

異常時の処置

■煙が出たり、変な臭いしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。
(火災・感電の原因)

■煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

各部のなまえと取付けかた



△警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける(落下の原因)

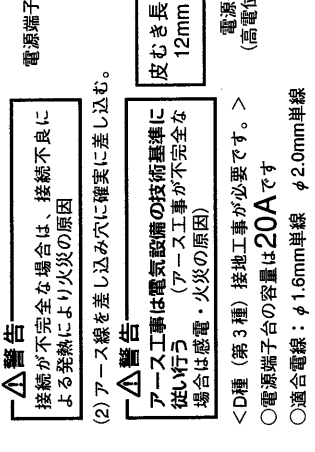
△警告
取付けが不完全な場合落下の原因

1 取付前の確認
器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。

2 器具本体を取付ける
(1) 使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
(2) 電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
(3) 本体を取付ボルトに確実に取付ける。

3 電源線を電源端子台に接続する

(1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。



△警告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

△警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

<D種(第3種)接地工事が必要です。>
○電源端子台の容量は20Aです
○適合電線：φ1.6mm単線 φ2.0mm単線

△警告
送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する(容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

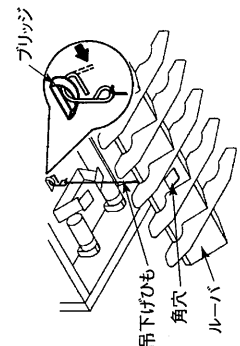
△警告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さで被覆をむき、1本ずつ連続端子の奥まで差し込む(差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)

(3) 電源線(アース線)の挿入部はルーバとの当たりを防ぐため電源端子台に押し付けるように小さく曲げる。

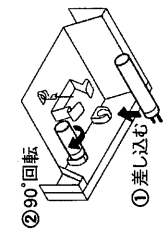
○電源線接続の連結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

4 ランプを確実に取付ける

(1) ルーバ付属の落下防止用吊り下げひもの先端の金具を、本体のブリッジに引っ掛けた後、図のように曲げる。(2ヶ所)



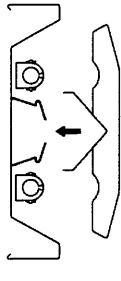
(2) ランプピンをソケットに差し込み、90°回転させ、ランプを確実に装着する。



△注意
取付けが不完全な場合落下の原因

5 ルーバを取付ける

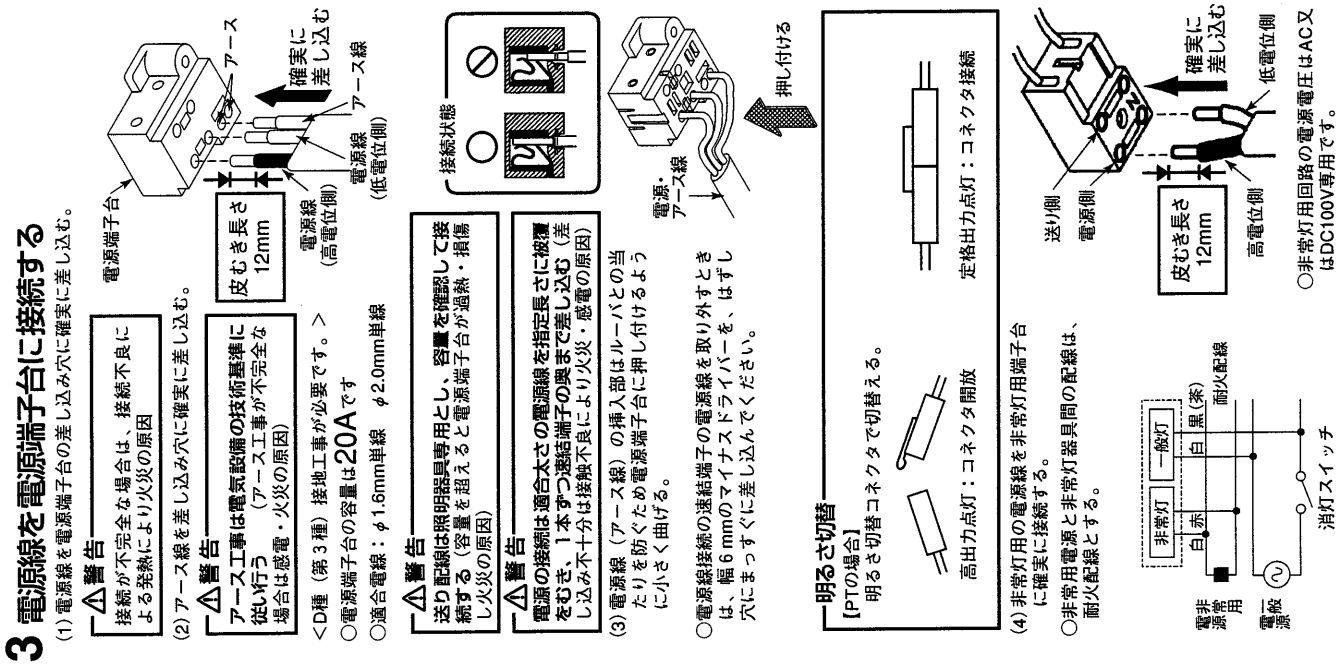
(1) ルーバを押し上げて、本体の取付パネに、ルーバの角穴をセットする。



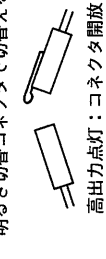
△警告
ルーバ取付けの際は電線をはずさない(絶縁不良により感電・火災の原因)

(2) ルーバ取付後、下に引下げ、確実に取付いていることを確認する。

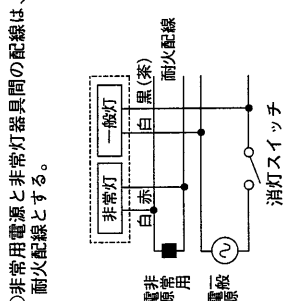
△注意
取付けが不完全な場合落下の原因



明るさ切替
[PTの場合]
明るさ切替コネクタで切替える。



(4) 非常灯用の電源線を非常灯用端子台に確実に接続する。
○非常灯用電源と非常灯器具間の配線は、耐火配線とする。



○非常灯回路の電源電圧はAC又はDC100V専用です。